慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.2 (1915. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150201-0116

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

思潮の普及は議政黨政治の機運を進めて、支那土耳古の老大國は申すに及ばず、屬邦殖民地の末に至る迄多少その影響を蒙らぬものはない。『嘗て吾人が政黨內閣制を有せざるは吾人の大なる幸福なり』とビューロー公をして叫ばしめた官僚政治の本場獨逸に於てさへも既にバイエルンの如きは政黨內閣制を實施するに至つた。廿有餘年の昔憲法政治を採用し、兎角の議論の絕えなかつた我國に於ても、今や一部少數の反對者を除いては政黨政治は已を得ざるの世界の趨勢である事を悟るに至つた、されば苟くも政治を口にし憲法を論ずるものは何は扨置き憲政の祖國たる英國の制度を知悉すべきである。此際本書の譯述は學界の得易可らざる賜である。

著者マリオット氏は牛津大學ウースター。カレッヂの近世史及び政治學の講師であつて、極めて明快な頭腦を有する人であるが、本書の著述に際しては有名なる斯界の碩學故アンソンと親しく協議を重ね或はその注意を受けて之を完成したもので、痒い處へ手の屆く樣に極めて普遍的に國王內閣國會裁判所より地方行政殖民地屬邦及び全英帝國の組織に亘つて英國憲法の實際的運用を說明し、且つ絕えず憲法の歷史に溯つて之が實例を示して、その進化の狀態を明にしてゐる。故に本書は秩序の整然たる點を以てせば一部の憲法論であつて、且つその歷史的に之を證する處を以てせば一部の英國憲法史とも稱すべきである。蓋しこれ本書の最も特色とする處であらう。

試みに英帝國の組織即ち聯邦殖民地屬邦を說ける最後の一章を開かんか、廣大無邊なるその殖民地の政體を大別して第一自治の大聯邦國、第二五領殖民地、第三兩者の中間に位し責任ある立法部と責任を負はざる行政部より成る殖民地とし各史實を基礎にしてその進展の經路を說いて誤らず、往々意見を挿みて「議院政治即ち內閣責任制は著しき眞價を有し獨裁政治亦然り、この中間にある政府は多くの缺陷を有す」（四五九―四六〇頁）と論じ、或は「濠洲聯邦の內閣員は夫れ〳〵行政各部の長官にして他に比類なき憲法條規に依りて必らず立法部の議員たらざるべからず」との規定を指摘して「その憲法上の慣例を法律に規定したるは興味あるのみならず、その內閣制度が聯邦制度と融和すべきや否やは最も議論の餘地ある點にして凡て憲法を研究するものが熱心に濠洲政治の將來に注意する所以なり」（四六九頁）と敎へたる如きその全般を察するを得ん。

多年西洋史の研究と敎授に從事し、先般英國に留學して專ら英國憲法の實地研究を遂げられた占部敎授が斯かる名著を擇んで權威ある飜譯を試みられたのは蓋し本書の價値を大ならしむるものであらう。近時の乘合馬車的著述に慊焉たる自分は本書の出版に多大の敬意を表するものである。今迄「英國の憲政を知るには何を讀むべきや」の度々の質問に對し良著なきに苦しまれた敎授先輩も今や安心して「先づ本書を讀め」との讚辭を惜まれないであらう。（まさき）

前號（第九卷第一號）目次（大正四年一月號）

論說

穀價調節論を評す　法學博士　河津暹
不景氣の由來及び効果　ドクトル、フイロソフイエ　氣賀勘重
歐洲戰亂期に於ける英佛大小農制度に關するアーサーヤングの研究（其二）　法學博士　福田德三
獨逸と穀物關稅問題　慶應義塾大學教授　阿部秀助

雜錄

新西蘭に於ける近時の勞働紛議　商學士　松崎壽
英國法制上警察權の限界　村田岩次郎
經濟學上より觀たる戰爭　高城仙次郎

批評と紹介

堀江歸一著『歐洲戰時ノ經濟財政』（增井）フォン・ビューロー著間崎萬里譯『獨逸外交政策』（松本）津村秀松著『國民經濟學原論』板倉卓造著『國民政治讀本』

編輯主任　堀江歸一　高城仙次郎

◉一冊定價　金二十二錢　郵稅金壹錢五厘
◉一ヶ年前金　金二圓四十錢　郵稅共

◉編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
◉營業に關する用件は發賣元宛
◉原稿締切期日は發行の前月十日限

大正四年一月廿七日印刷納本
大正四年二月一日發行
每月一回一日發行

三田學會雜誌
禁轉載
第九卷第二號

編輯兼發行者　東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾內　石田新太郎
印刷者　東京市赤坂區新坂町五十九番地　金子榮太郎
印刷所　東京市赤坂區新町五丁目四十四番地　金子活版所

發賣元　東京市麴町區有樂町一丁目一番地　籾山書店
振替貯金口座東京[illegible]四[illegible]七番
電話本局[illegible]一三[illegible]番

◉尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所　東京芝三田慶應義塾內　理財學會